

道徳の授業づくり【中学校】①(道徳科について)

出前講座（中学校）

「考え、議論する」道徳の 授業づくり

島根県教育センター

この動画は、出前講座「道徳」をオンデマンド化したものです。
各中学校において「考え、議論する」道徳の授業づくりの研修を行
われる際にお役立ていただきたいと思います。

事前準備

- ① 中学校学習指導要領（平成29年告示）
解説 特別の教科 道徳編
- ② 教材「二通の手紙」（『私たちの道徳（中学校）』p140～）
- ③ 道徳授業づくりシート
- ④ リーフレット
「考え、議論する道徳科の授業づくり
～道徳授業づくりシートの活用～」

2

まず、次の3つを事前にご準備ください。

- ① 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編
- ② 教材「二通の手紙」（『私たちの道徳（中学校）』 p140～）
- ③ 道徳授業づくりシート
- ④ リーフレット 「考え、議論する道徳科の授業づくり～道徳授業づくりシートの活用～」

以上をお手元にご準備いただき研修を進めてください。

島根県教育センターのホームページに掲載しています

道徳授業づくりシート (広島県立教育センター作成 「道徳リードシート」を改編)

教科名(出典)	主題
本時の内容単元の抽出	
内容単元の分析・整理 (一欄に書き込みたいポイント)	
内容単元に係る授業主観の整理	関係する授業主観の整理

★水山の三層モデル (岐阜大学 高松生教授考案)

『道徳的に良い』の登場人物は、誰か。 (A)	『(A)』が実践した事になった授業は、誰か。 (B)
『(A)』が、何を思ったか、どう思ったか、(教材)『』についてある事か。 (C)	
実践したら、教材から読み取れること。	
道徳的価値について	

道徳のねらいを明確にしましょう。

○授業構想

ねらいにそなえるための中心疑問・教材のねらい

児童生徒の手習される多様な場面

問い出しの場面

手習される多様な場面

本時のねらい

- ◎本時に際する一時的な専門から多面的・多角的な専門へつながる問い出しの場面例
- ◎道徳的価値(聖徳)を問う場面 「どうしてそう思いましたか。」
- ◎道徳的価値(道徳的価値)を問う場面 「それ以外なら、どうなるか思いますか。」
- ◎道徳的価値の場面の送り、授業の帰着しを促せる場面 「物事は同じよう経験はありますか。」
- ◎道徳的価値を用いた場面 「ない、どこで、誰かであらうですか。」
- ◎道徳的価値を用いた場面 「何が道徳的価値ですか。」
- ◎その他 「はい、どんな気持ちでしようか。」
「-は、どんな気持ちでしようか。」
「-はしたことをどう思いますか。」

※道徳授業に係る研修等の場内に関する専門家会議(第2回)における岐阜大学大学院 高松生教授の配付資料より

島根県教育センター (令和2年3月版)

「道徳授業づくりシート」及び「リーフレット～道徳授業づくりシートの活用～」は、島根県教育センターのホームページに掲載していますので、ダウンロードしてご準備ください。

講座の流れ（約100分）

- 1 道徳科について（約15分）
→ 道徳の授業づくり【中学校】①
- 2 授業づくりの手順（約20分）
→ 道徳の授業づくり【中学校】②
- 3 演習「授業づくり」（約65分）
→ 道徳の授業づくり【中学校】③

4

それでは、100分の講座の流れです。

「1. 道徳科について」は、15分程度

「2. 授業づくりシートの使い方」は、25分程度

「3. 授業づくりの演習」は、60分程度の時間を目安としています。

担当の方は、この動画の指示に従って、再生などの操作と、演習の進行をお願いします。

本講座のゴール

「考え、議論する」道德の授業をつくるために必要なポイントを他の人に説明することができる。

本講座のゴールを確認します。

ゴールは、「考え、議論する」道德の授業をつくるために必要なポイントを他の人に説明することができる。」ようになっていただくことです。

本講座を終えたあとに、道德の授業をつくるためには「ここがポイントだ」「こうすれば考え議論する道德ができる」と説明してもらいます。

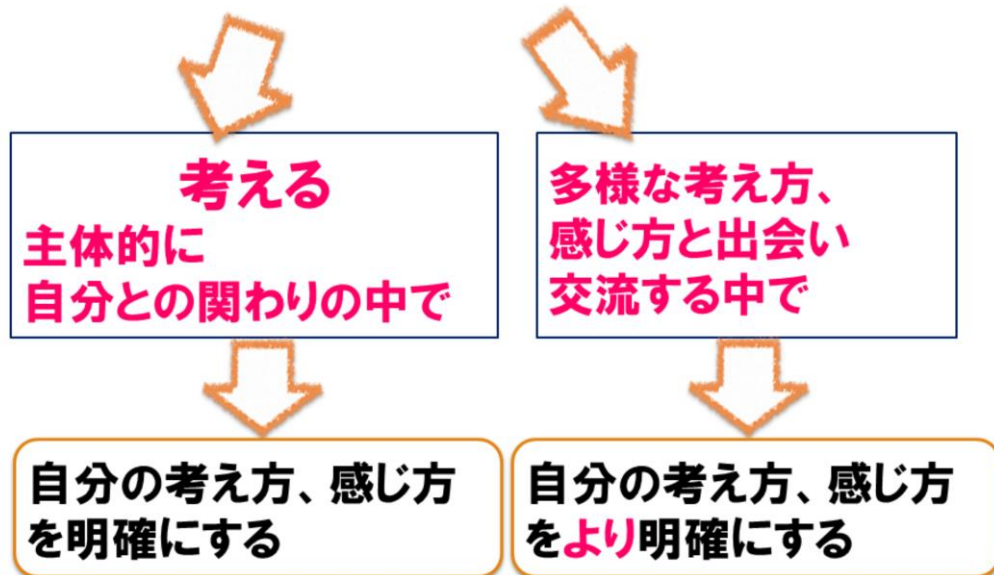
このゴールを意識しながら講座を進めていただきたいと思います。

講座の流れ（約100分）

- 1 道徳科について（約15分）
- 2 授業づくりの手順（約20分）
- 3 演習「授業づくり」（約65分）

まずは、道徳科についてです。

考え、議論する道徳



7

突然ですが、質問をさせてください。「考え、議論する道徳」とは、どのような道徳なのでしょう？

今から2分程度でお隣の方と「考え、議論する道徳とは、どのような道徳か」についてお話してください。

ここで一度、動画を停止してください。 2分後、再び動画を再生してください。

それでは、説明を続けさせていただきます。

★「考え」とは、主体的に自分との関わりの中で考え、自分の考え方、感じ方を明確にしていくことです。

※道徳の時間が「他人事」ではなく、「自分事」として考えることのできる時間でなくてはなりません。生徒が「自分はこう考える」「自分はこう感じる」と思考できる50分間にしていくことが欠かせません。

★そして、他者の考えを聞き、多様な考え方、感じ方と出会い交流する中で、自分の考え方、感じ方をより明確にすることができる時間でなくてはなりません。

※生徒が他の生徒の考えや感じ方に出会う中で、「そんな考え方もあるのか」「その考え方すてきだな」「そうか！こんなときはこんな風にすればいいのか」と感じることができる授業をつくるのが大切です。

この時間を積み重ねることで、少しずつ自分の価値観を形成し、将来、自分で判断し、実践することができるようになります。

考え、議論する道徳



この「考え、議論する道徳」と各教科における授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」には、このような関係があります。

「考え、議論する」は、★「主体的な学び」及び「対話的な学び」を意味しています。

★そして、「指導の明確な意図」によって、「深い学び」につながります。

「深い学び」とは、「人間としての生き方についての考えを深める学び」のことです。

★また、この「指導の明確な意図」については、後ほど詳しく説明をします。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため

これらの学習を通して

☆道徳的諸価値についての理解を基に

- ①自己を見つめる
- ②物事を広い視野から多面的・多角的に考える
- ↓
- ③人間としての生き方について考えを深める

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

9

授業づくりをしていく上で、欠かせないのは、「考え、議論する」道徳科の目標です。

道徳科の目標は・・・★

「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、

自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」です。

よりよく生きるための基盤を養うために、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるのが、道徳科なのです。

四つの視点

- A 主として自分自身に関する事**
- B 主として人との関わりに関する事**
- C 主として集団や社会との関わりに関する事**
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事**

『学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科道徳編』には、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を四つの視点に分けて示されています。

では、四つの視点は何かでしょうか？

その四つとは、

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

この視点から内容項目を分類整理し、内容の全体構成及び相互の関連性と発展性が明確にしてあります。

道徳科の内容項目(22項目)

A 主として自分自身に関すること

自主, 自律, 自由と責任	節度, 節制	向上心, 個性の伸長	希望と勇気, 克己と強い意志	真理の探究, 創造
------------------	-----------	---------------	-------------------	--------------

B 主として人との関わりに関すること

思いやり, 感謝	礼義	友情, 信頼	相互理解, 寛容
----------	----	--------	----------

C 主として集団や社会との関わりに関すること

遵法精神, 公德心	公正, 公平 社会正義	社会参画, 公共の精神	勤労	家族愛, 家庭生活の充実
--------------	----------------	----------------	----	-----------------

学校生活, 集団 生活の向上	郷土の伝統と文化の尊 重, 強度を愛する態度	我が国の伝統と文化の 尊重, 国を愛する態度	国際理解, 国際貢献
-------------------	---------------------------	---------------------------	---------------

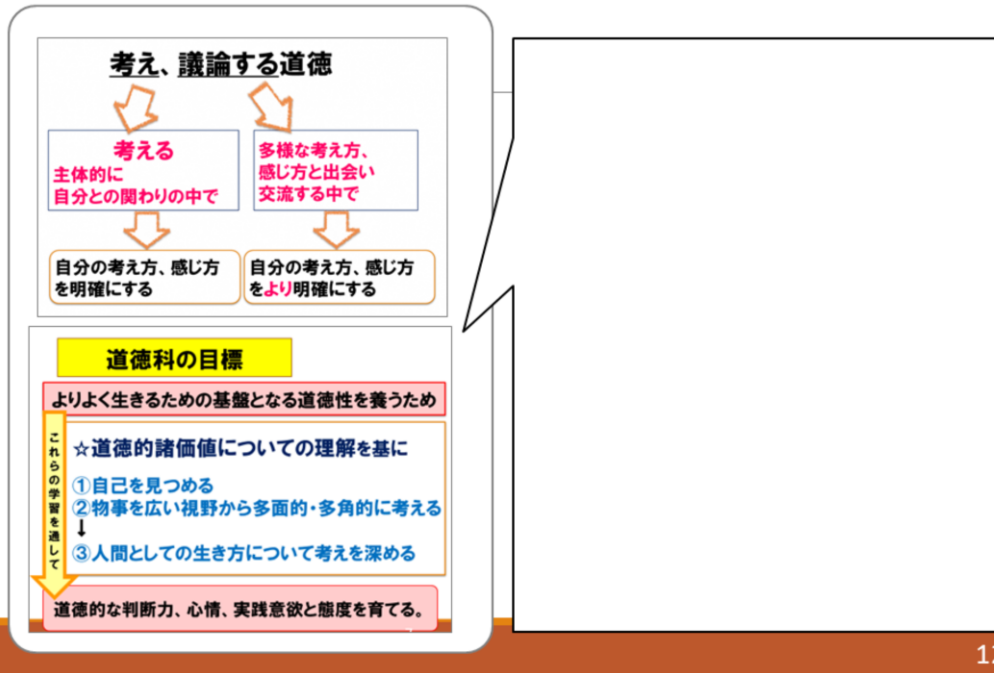
D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

生命の尊さ	自然愛護	感動, 畏敬の念	よりよく生きる喜び
-------	------	----------	-----------

道徳科の内容項目は、22項目にまとめられています。

道徳科の授業においては、各学年においてこの22項目のすべてを年間の35時間の中で扱うことになっています。

「考え、議論する」道徳科



それでは、2分程度時間をとっていただき、ここまでのところで、ご自身が考える「考え、議論する」道徳科についてまとめてください。

「考え、議論する」道徳科

視 点

- ①今、自分はこのような「考え、議論する」道徳を行っている。
- ②これから、このような「考え、議論する」道徳を行っていきたい。

例えば、「①今、自分はこのような「考え、議論する」道徳を行っている」

「②これから、このような「考え、議論する」道徳を行っていきたい」

のような視点でまとめてみてください。

「1 道徳科について」は以上です。

「2 授業づくりの手順」は、「道徳の授業づくり【中学校】②」をご覧ください。